

会 議 録

会議の名称	令和元年度第2回清須市健康づくり推進協議会
開催日時	令和2年1月22日(水) 午後2時～午後3時35分
開催場所	清須市役所南館3階大会議室
議 題	1. あいさつ 2. 協議 (1)健康日本21清須計画(第2次)・清須市自殺対策計画の推進について (2)清須市保健事業 (3)その他
会議資料	会議次第 令和元年度第2回清須市健康づくり推進協議会名簿 令和元年度第2回清須市健康づくり推進協議会配席図 資料1 「健康づくりをみんなで考える会(市民ワークショップ)」報告 資料2 「実務者連絡会議」報告 資料3-1～3 保健事業について
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	0人
出席委員	鬼頭委員、加藤委員、宮田委員、時田委員、山内委員、住田委員、西谷委員、佐橋委員、高山委員、鳥谷委員、波多野委員、中村委員、片山委員、中川委員、子安委員
欠席委員	0人
事務局	河口部長 〔健康推進課〕佐古次長兼課長、米沢課長補佐、高木係長、坂下係長、舟橋係長、三島主任主査 〔高齢福祉課〕幸村係長
会議の経過 《要旨》	1. あいさつ 2. 協議 (1)健康づくりをみんなで考える会(市民ワークショップ) (資料1) (2)実務者連絡会議(資料2) (3)清須市保健事業 (資料3-①～③) 3. その他 鬼頭会長：ただいま事務局から健康づくりを考える会、実務者連絡会議、保健事業等について説明がありましたが、ご質問やご意見がありましたらお願いします。 佐橋委員：自殺対策の会議(実務者連絡会議)は市の課長さんが対象ですか。 事務局：係長以上の職員を対象に行いました。 佐橋委員：職員対象ですか。市民にもこれから自殺対策の会議の実施がありますか。 事務局：市民ワークショップを実施しています。また、市民や職員に、名刺大の相談先の書いたものを市役所トイレに設置し、相談先の啓発をしました。 佐橋委員：今後、生活困窮者の方が増え、自殺者が増えてくると思われます。全国では自殺者が2万人余りとなり、1月1日の新聞にその人数の速報が載りました。当市は10万人に対し15.8人とあり、多いのではないのでしょうか。アメリカやドイツの先

進国は10万人当たり13人です。愛知県では1,612人であり、当市も市民のことを考えて自殺者対策を行い、大切な若い命が絶たれないようにお願いします。

鬼頭会長：子育てをサポートする立場で母子保健推進員の波多野委員、ご意見いただけますか。

波多野委員：出産後間もないご家庭を訪問していると、ご夫婦が笑顔で赤ちゃんに接しておられ本当に幸せそうです。ご夫婦が仲良く円満であることが一番良いと思います。

加藤副会長：佐橋委員のご意見についてですが、統計的な問題で、当市の人口は7万人弱なので、自殺者が1人増えると割合が増えます。一喜一憂せずに対策を練っていききたいと思います。

鬼頭会長：企業で健康管理室のお立場で従業員の健康づくりをご尽力された実績から、中村委員、ご発言いただけますか。

中村委員：従業員一人ひとりのメンタルチェックを実施し、高得点者や希望者に産業医と直接、面接を実施しています。また残業の多い方も産業医との面接を勧めています。今年度は新人社員のメンタルヘルス対策を充実させ、離職者を防ぐために全員面接を実施しています。高ストレス職場の対策を実施しており、部長からの対策やどんな問題があるのか話し合っています。人事・総務・安全衛生も入ったの会議を実施し、対策をできるだけ早く実施していこうと動いています。

鬼頭会長：細やかな対策で頭が下がる思いです。心の健康の支援について、社会福祉協議会の時田委員、いかがですか。

時田委員：ゲートキーパーの現在の人数を教えてください。また特定健診の啓発が1,800世帯は多いのではないのでしょうか。

事務局：今年度、市民や職員で44人、また給食センターからの依頼で調理員の方へ57人に講座を実施し、平成24年度の開始から現在まで、延べ448人となりました。特定健診の啓発の世帯数は、年に2回啓発しているため、2回分の世帯数を計上しています。

鬼頭会長：地域で子どもたちを見守っていただいているPTA代表の住田委員いかがですか。

住田委員：中学生がスマホの使用で睡眠時間が減少しています。途切れると友達との会話が途絶えるようです。睡眠時間が減り、朝起きられない、朝食が摂れないといった悪循環が起きていて、小さい頃から時間を決めて使うのが大切だと思います。朝の通学時、高校生は挨拶なく素通りですが、中学生の方は挨拶があるので嬉しいです。そのまま育ってくれたらいいなと思います。

鬼頭会長：子育て中の母親の立場、また若い世代の健康について中川委員いかがですか。

中川委員：子どもが小さい頃、毎月だったか保健センターで身体計測を実施してくれました。自由参加でしたが、その際に同じ悩みを持つ母や保健師にゆっくり話を聞いてもらって安心して子育てできました。

鬼頭会長：女性の健康づくりの立場から、女性の会の西谷委員いかがですか。

西谷委員：住田委員からも話がありましたが、スマホ、タブレットに頼ることが多くなったと思います。公園で母同士がスマホやアイパッドで会話しています。機械を使うのは悪くはないと思いますが、時間を決めて使うことが大切かと思っています。SNSでの悩み相談ではなく、フェーストゥフェースで相談ができることやその関係が大切だと思います。どんな場でも顔を見て話し、その表情を見て話すことが安心感につながるので、その安心感を得ていくことが大切です。

加藤副会長：“良い睡眠”や“人とつながろう”は計画の重点ポイントにありますが、スマホ依存の問題があります。スマホを全否定するつもりではありませんが、スマホの使い方、ルールを決めることが大切だと思います。市民ワークショップでもよい

ので機会をもらって相談、考えることができると良いと思います。良い睡眠をするためにスマホは寝る前に持たない等の工夫が必要です。

鬼頭会長：地域の高齢者の立場で山内委員いかがでしょうか。

山内委員：行政が「やろまいか教室」を実施してくれている。1時間程の長くない教室なので皆が参加してほしい。できるだけ医療にかからないようにしたいので、もっとPRをしてほしいです。

鬼頭会長：地域の健康づくりとして運動教室のご指導をしていただいている、鳥谷委員いかがですか。

鳥谷委員：皆が集まれる場を作って欲しいです。健康づくりリーダーが高齢化しているのが課題で、どちらも考慮してもらえると良いと思います。

鬼頭会長：清須市に女性の循環器疾患の死亡が多いことも健康日本21清須計画(中間評価)の中でありましたが、食生活、主には減塩や野菜摂取に取り組んでいらっしゃる食生活改善推進員の高山委員、いかがですか。

高山委員：塩分を薄味にすると、家族が食べてくれないと言われるとの声を聞きます。塩分を摂ったなら、野菜を多く食べて欲しいと思います。塩分を体外に出してくれるからです。野菜を摂ってもらえると血圧も下がります。

鬼頭会長：清須市は特に、高血圧、循環器疾患の医療費が県内でも高いとのこと。健康についてのお考えなど、片山委員いかがですか。

片山委員：スポーツ中心に活動しています。挨拶する、笑顔を作るなど、自分たちにできることは何か考えています。しかし、男性の出席率が非常に少ないので、これからは、シニア健康体操を実施していくが女性ばかりではなく男性が参加してくれると良いです。声をかけて、みんなに来てもらって笑顔になってもらいたいです。障害者スポーツとの交流も実施しており、障害者スポーツのカローリングというスポーツは、点数が取れて笑顔になります。これからも頑張っていきたいです。

鬼頭会長：では最後に清須保健所長の子安委員、ご助言をお願いします。

子安委員：自殺対策は全庁的に取り組んでいただきたい。全体的には3万人から2万人を切り、対策が進んでいますが、特に若年者は、いじめ自殺が含まれるがこの対策を実施していかなければいけない。清須市は20歳未満の方は0人。対象者の数が少ない時は、5年くらいのスパンで見ると良いです。50歳以上の男性の自殺は、事業の失敗から健康不安となり自殺する、オーソドックスなパターンが見られます。仕事や家族のある方が多いため、重点的に見ていくと良い。スマホの問題はデジタル通貨、SNSや、eスポーツも盛んになり、今後もデジタル時代に対応していかなければいけないので、スマホを悪者にしては時代に取り残されます。大切なのは、子どもの生活習慣の確立です。インターネットで調べて分かったつもりになってしまいますが、図書館の本で調べることも大切なことです。健康的な生活習慣を確立することと、デジタル世代への対応は分けて考えていく必要があります。

鬼頭会長：ありがとうございました。

3. その他

- ・改正された健康増進法が、2020年4月1日より全面施行されます。

事務局：次年度は1回の開催とさせていただき、令和2年度10月ごろの開催を予定しています。2年の任期が終了し、来年度委員の改正となりますが、引き続きご協力いただきますようよろしくお願いいたします。

本日は、長時間にわたりご審議を賜りまして、ありがとうございました。
以上で終了とさせていただきます。

会議の結果	会議の経過に示したとおり
-------	--------------

問い合わせ先	健康福祉部 健康推進課 電話 052-400-2911 内線2150
--------	---------------------------------------